

2017年2月5日(日)

文部科学省委託事業(学びを通じた地方創生コンファレンス)

「東京コンファレンス」第一分科会

東京2020オリンピック・パラリンピックから
広がる地域活動・市民活動

企画・運営:たま社会教育ネットワーク

メインファシリテーター

サブファシリテーター

グラフィッカー

萩元

中田

若林

直樹

智久

裕香



まずは 自己紹介

本日はよろしく
お願いいたします

自己紹介 萩元① (メインファシリテーター)

小平市職員 **10**年目 (2007年~)

公民館主事 (**5**年間)

2015年より東京都オリンピック・パラリンピック準備局へ派遣

※公民館主事となった**2**年目に
社会教育主事の資格を取得

自己紹介 萩元②～都庁職員として～

「都民・各自治体・世界中から来る
外国人のために頑張る！

オリ・パラを機として
多くのネットワークを作りたい!!」

学んだこと: 主体性と責任と
チームプレー

もう時間がないので…

**あとの二人はサラッと
自己紹介します (^o^)**

自己紹介 中田①（サブファシリテーター）

小平市職員 **13**年目（2004年～）

公民館主事（**4**年間）

2016年より公東京オリンピック・パラリンピック組織委員会へ**派遣**

自己紹介 中田②（サブファシリテーター）

社会教育にひと言

社会教育は怖いけど
やめられない

自己紹介 若林（グラフィッカー）

青梅市職員**8**年目（2009年～）

社会教育課を4年間経験

今日の役割・・・グラフィック

東京2020大会

東京2020大会 開催日程

東京2020オリンピック

2020年7月24日(金)～8月9日(日)

東京2020パラリンピック

2020年8月25日(火)～9月6日(日)













皆さんの
オリ・パラ への
イメージは？

**今日みんな
共創したいこと**

東京2020大会

と

社会教育

の

関係づくり

「関係づくり」

を紐解く

キーワードは…

レガシー

LEGACY

グループワーク

①自己紹介

②レガシー

**今日みんな
共創したいこと**

東京2020大会

と

社会教育

の

関係づくり

「関係づくり」

を紐解く

キーワードは…

レガシー

LEGACY

オリンピック・パラリンピックの 3大キーワード（近年）

①レガシー（遺産）

②サステイナビリティ
（持続可能性）

③ダイバーシティ（多様性）

/ インクルージョン（包括性）

レガシーとは① おおよその定義

(東京2020大会の場合)

東京2020大会等の開催により
開催都市や開催国が、
長期にわたり継承・享受できる、
大会の社会的・経済的・
文化的恩恵のこと

東京都「2020年に向けた東京都の取組—大会後のレガシーを見据えて—」より

レガシーとは②

アウトカムの視点の延長上

アウトプットOutput (実績)

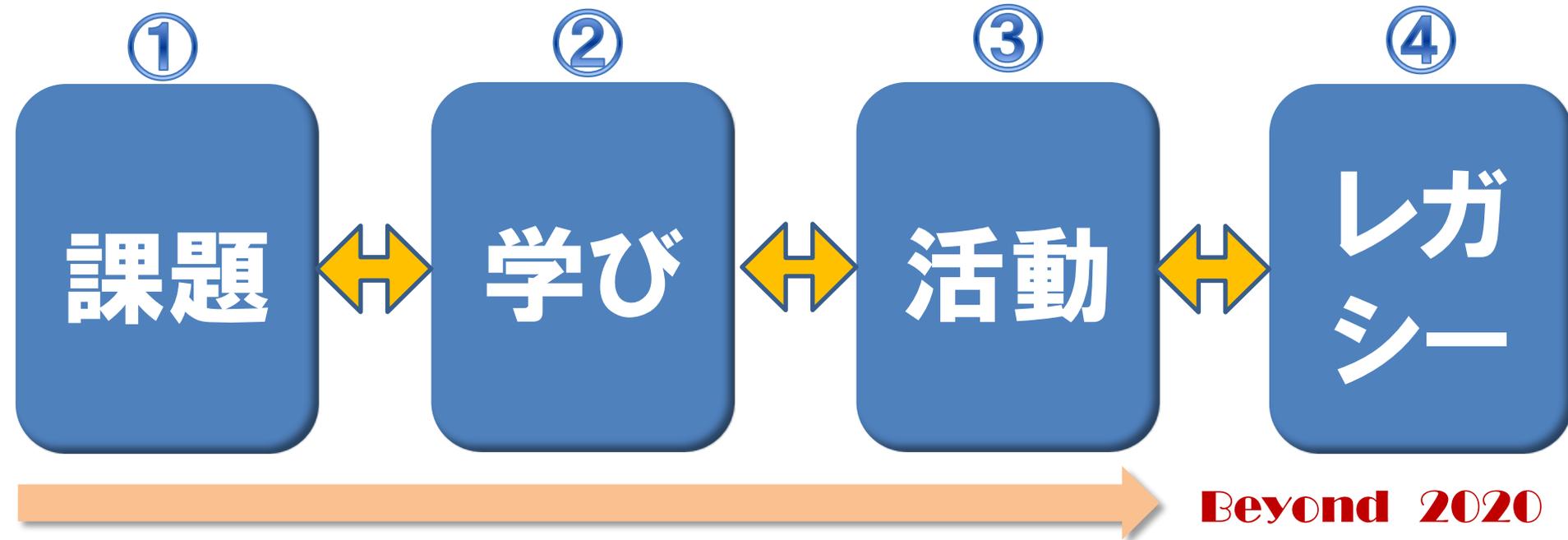
利用者数や参加者数など事業の結果

アウトカムOutcome (成果)

事業の結果を通じて生じる人々の意識や行動の変化や地域社会の変化など、事業の成果や効果

⇒社会教育が大切にしてきたアウトカム
⇒レガシーはアウトカムの考え方に近い

レガシーとは③ 社会教育における考え方



<レガシーを見据えた取組例(考える順序)>

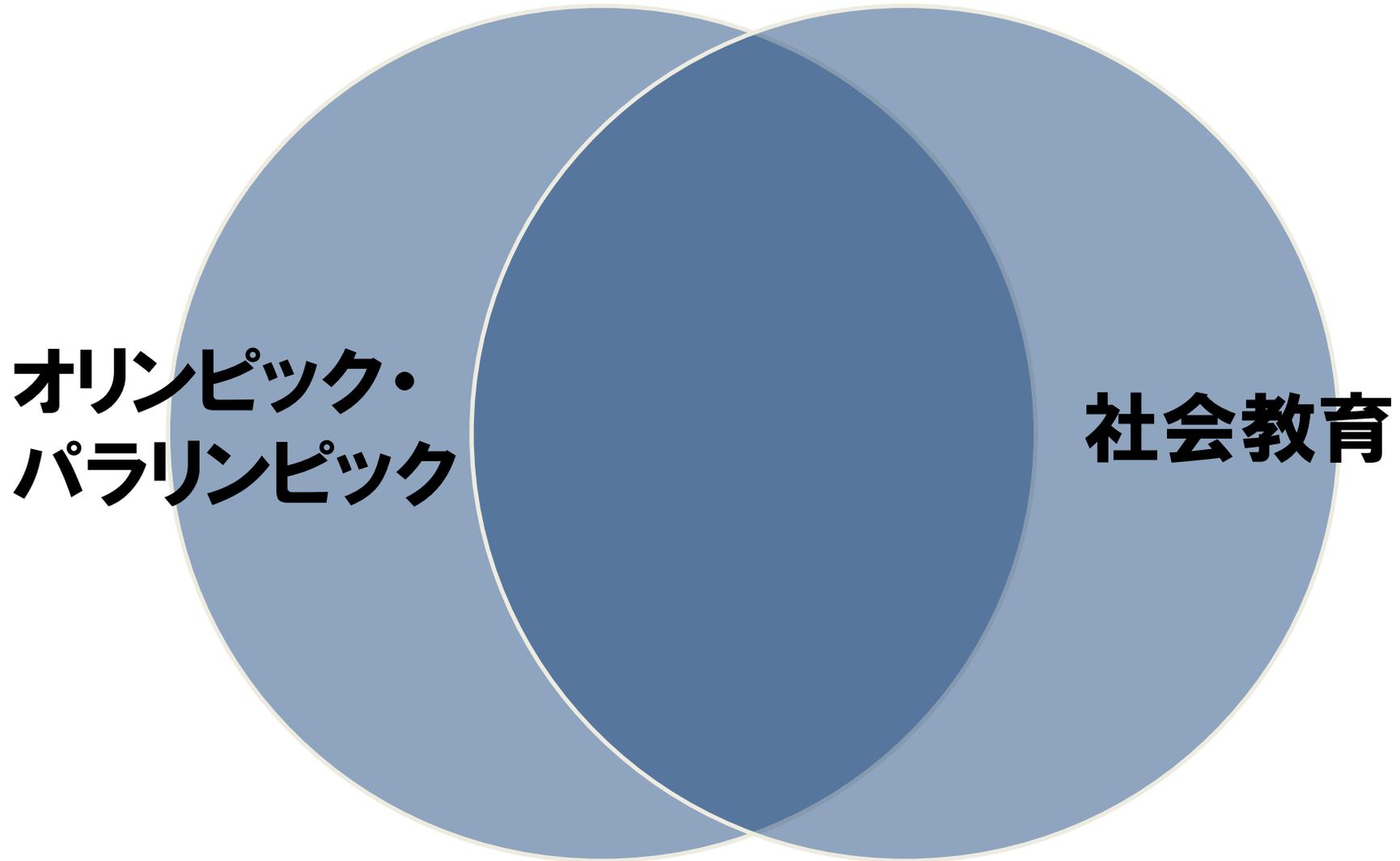
④レガシー・・・心のバリアフリーが実現した社会

①(レガシーが含有している)課題・・・障がい者理解、○○、○○・・・

②③(課題の解決に向けた)学び・活動・・・障がい者青年教室を通じた体験的な学習活動、○○な講座を開講してサークルにて普及イベント活動等を開催、その他○○・・・

レガシーとは④

オリ・パラと社会教育の諸活動の関係性



レガシー4つの指標 その①

広義のレガシー

2020を機として地域社会の在り方の見直し
教育、文化、環境など広範な分野の要素
さまざまな担い手によるまちづくり

狭義のレガシー

交通、インフラの整備、スポーツ振興、
施設の後利用

大会の成功

参加者、参加国、新記録、収支その他

都庁
組織委員会

政府
地方自治体
組織委員会

2020

2050

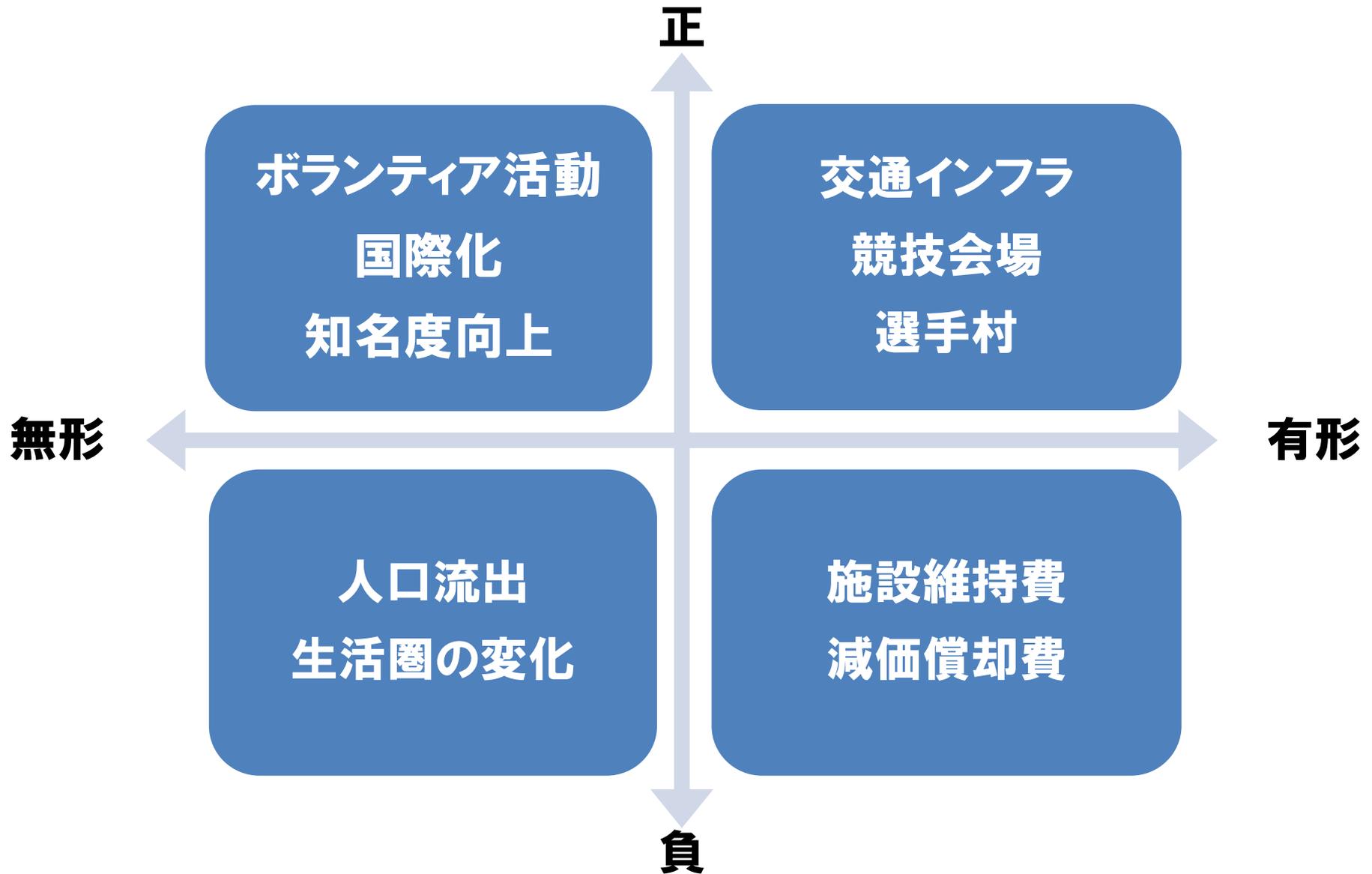
2120

レガシー4つの指標 その②

ハード・ソフト

大会	ハードレガシー(有形)	ソフトレガシー(無形)
1964 東京	<ul style="list-style-type: none">・新幹線・首都高・国立競技場・代々木体育館	<ul style="list-style-type: none">・戦後の復興・新規ビジネス(警備等)・スポーツ振興法・ピクトグラム
1972 札幌	<ul style="list-style-type: none">・地下鉄 ・地下街・道央自動車道	<ul style="list-style-type: none">・ウィンタースポーツの浸透
1998 長野	<ul style="list-style-type: none">・長野新幹線・上信越自動車道	<ul style="list-style-type: none">・一校一國運動・3.3万人のボランティア
2020 東京	<ul style="list-style-type: none">・新国立競技場・多言語標識 等々	<ul style="list-style-type: none">・心のバリアフリー・観光立国 等々

レガシー4つの指標 その③ ポジティブ(正)とネガティブ(負)



レガシー4つの指標 その④ トリガー事業 レガシー事業

トリガー事業

- 大会に関する住民や関係者の認知・関心・参加を促す取組

例(住民の健康・スポーツ活動)

- ◆ オリンピアン講演会
- ◆ パラスポーツ体験会

例(インバウンド観光)

- ◆ 海外メディア発信

レガシー事業

- 大会を契機に地域の課題解決や活性化を進める取組

例(住民の健康・スポーツ活動)

- ◆ パラスポーツサークル設立

例(インバウンド観光)

- ◆ 観光資源の再発掘・ルート開発、DMO設立

都と組織委員会のレガシープラン

立候補ファイル

- ◆文化
- ◆経済
- ◆環境
- ◆イメージ
- ◆教育
- ◆ムーブメント
- ◆政治
- ◆社会問題
- ◆スポーツ
- ◆持続可能性
- ◆都市化 等

東京都

- ◆施設
- ◆スポーツ・健康
- ◆都民参加・感動・記憶
- ◆文化
- ◆人材育成
- ◆多様性の共生社会
- ◆持続可能な都市環境
- ◆経済活性化
- ◆被災地復興支援

組織委員会

- ◆スポーツ・健康
- ◆街づくり・持続可能性
- ◆文化・教育
- ◆経済・テクノロジー
- ◆復興・オールジャパン・世界への発信

都教育庁 オリンピック・パラリンピック教育

<重点的に育成する5つの資質>

ボランティア
マインド

障害者理解

スポーツ志向

日本人としての
自覚と誇り

豊かな国際感覚

<3つのレガシー>

- ① 体験や活動を通して、子ども達に人生の糧を残す
- ② オリパラ教育でのノウハウやネットワークを活用した大会後も長く続く教育活動
- ③ 家庭・地域を巻き込み、大人たちのボランティアマインドや障害者理解を高め、共生・共助社会を形成

〈東京2020大会と必要課題・要求課題〉

※その他の参考ケース「東日本大震災」「憲法改正」「防犯」…等

課題に対する意識レベル



**TOKYO2020
開催決定**

2020年

研修の目的

と

ワークショップの目標

本研修の目的

全国初の研修テーマ

東京2020大会と社会教育の
関係を明らかにしていく

⇒全国展開

⇒社会教育の活性化

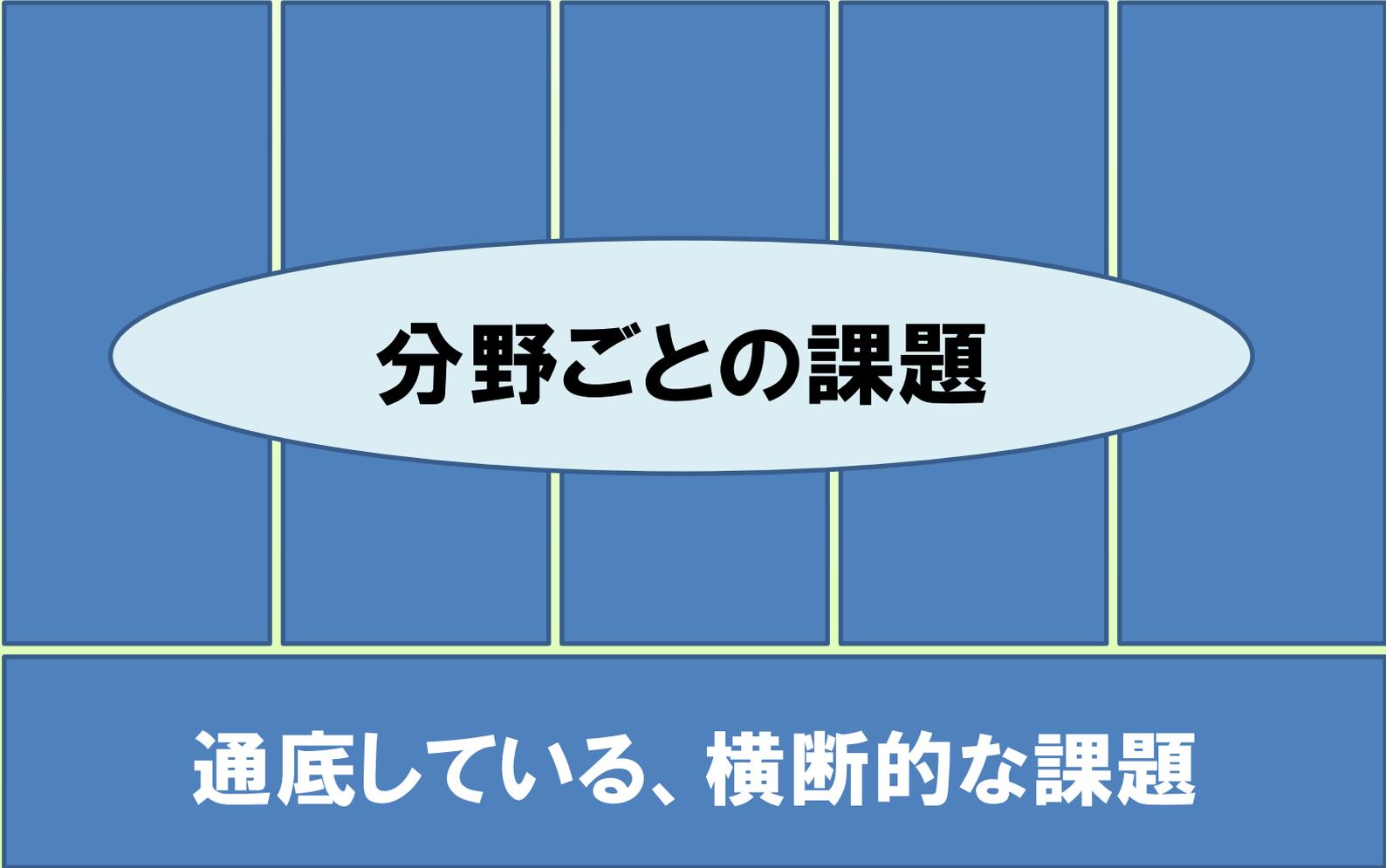
ワーク（5分程度）

①東京2020大会において、
社会教育の取組からどのような
レガシーを目指したいか？

⇒○○な社会と表記

②その理由

グルーピングのイメージ



分野ごとの課題

通底している、横断的な課題

ワーク（5分）

ワークシートを胸の前に掲げ、仲間を探そう



ワークショップ 1ラウンド目 (10分程度)

①自己紹介

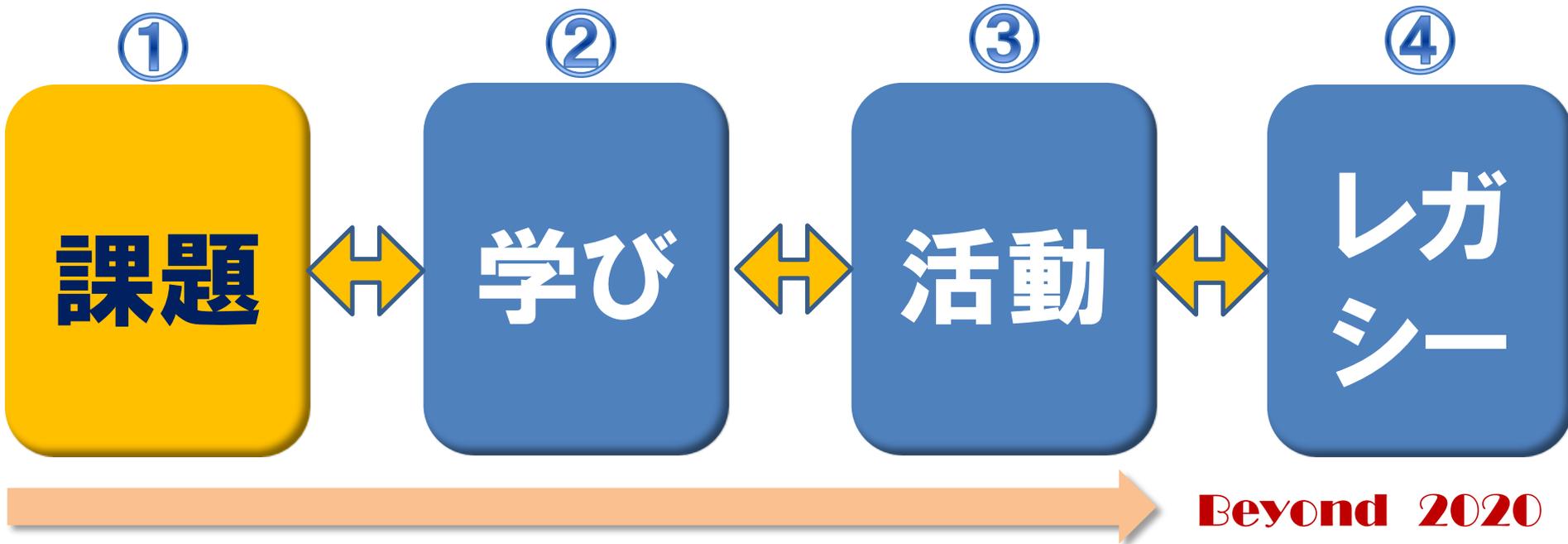
②ワークシート説明

休憩 ♪

前半の整理を
前に貼ってます



レガシーとは 社会教育における考え方



<レガシーを見据えた取組例(考える順序)>

④レガシー・・・心のバリアフリーが実現した社会

①(レガシーが含有している)課題・・・障がい者理解、○○、○○・・・

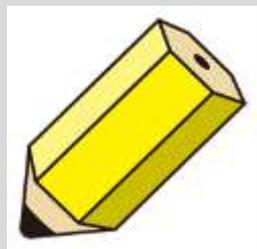
②③(課題の解決に向けた)学び・活動・・・障がい者青年教室を通じた体験的な学習活動、○○な講座を開講してサークルにて普及イベント活動等を開催、その他○○・・・

課題

学び

活動

レガシー



--

--

--

--

ワークショップ 2ラウンド目 (20分程度)

ワークシートを元に
レガシーに含まれている
「課題」を見出そう

レガシーとは 社会教育における考え方



<レガシーを見据えた取組例(考える順序)>

④レガシー・・・心のバリアフリーが実現した社会

①(レガシーが含有している)課題・・・障がい者理解、○○、○○・・・

②③(課題の解決に向けた)学び・活動・・・障がい者青年教室を通じた体験的な学習活動、○○な講座を開講してサークルにて普及イベント活動等を開催、その他○○・・・

課題

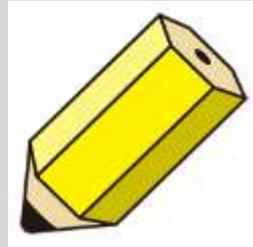
障がい者理解
LGBT

国際理解
異文化理解
ハラル対応

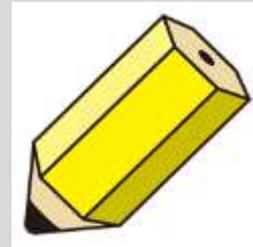
○○
△△

○○
△△

学び



活動



レガシー

ワークショップ 3ラウンド目 (20分程度)

「レガシー」と「課題」
の間にある「**学び**」と
「**活動**」を考えよう

ワークシヨツプ

ふりかえり

ふりかえり（10分）

- ①まず全体で集まりましょう！
- ②各グループから補足説明
- ③共通点・関連性について議論
- ④東京2020大会における
社会教育分野の究極レガシーは？

全体のまとめ

グラフィック

オリンピック・パラリンピックに向けた取組は、自分の組織だけでは難しいことや迷うことも少なからずあると思います。

今日の交流を、他の自治体との
情報交換や連携を進めるきっかけ
にしていただければ幸いです。

今日のヒントを糧に、それぞれの
現場で頑張りましょう！

そして、2020年に向けて、
世界に誇れる東京・日本を
共につくっていきましょう！

おわり

どうもありがとうございました。

**みんなで豊かな地域社会を
つくりましょう！**

今後ともよろしくお願いいたします。

アンケート

記入タイム

最初の会場へ移動

再開は15:40～